資料 2

平成２９年８月９日
第１回　空堀川流域
広域雨水整備検討協議会

検討内容について

１　背景

・空堀川流域の立川市、東大和市、武蔵村山市の一部の地区ではこれまでも浸水被害が発生しており、平成28年の台風９号では、甚大な被害が発生した。
・特に、空堀川流域南側の地区は、地盤高の関係で市が直接、空堀川に雨水を排除することが困難な箇所がある等､雨水整備が進められないため浸水被害が多発している。
・そこで、市の公共下水道と都の流域下水道が一体となり、事業費の縮減と早期に浸水対策を進めるため、広域的な雨水整備について、都及び各市が取り組むべき内容を検討する。

２　検討内容

〇現状把握

・浸水要因分析（地形、雨水排除能力等）
・過去被害状況の整理（浸水区域、降雨状況等）
・既設管、浸透施設等の整備状況（既設管のデータは、３市より提供頂く）
・既設の浸透施設の能力評価、検証（実験）

〇降雨シミュレーションの実施

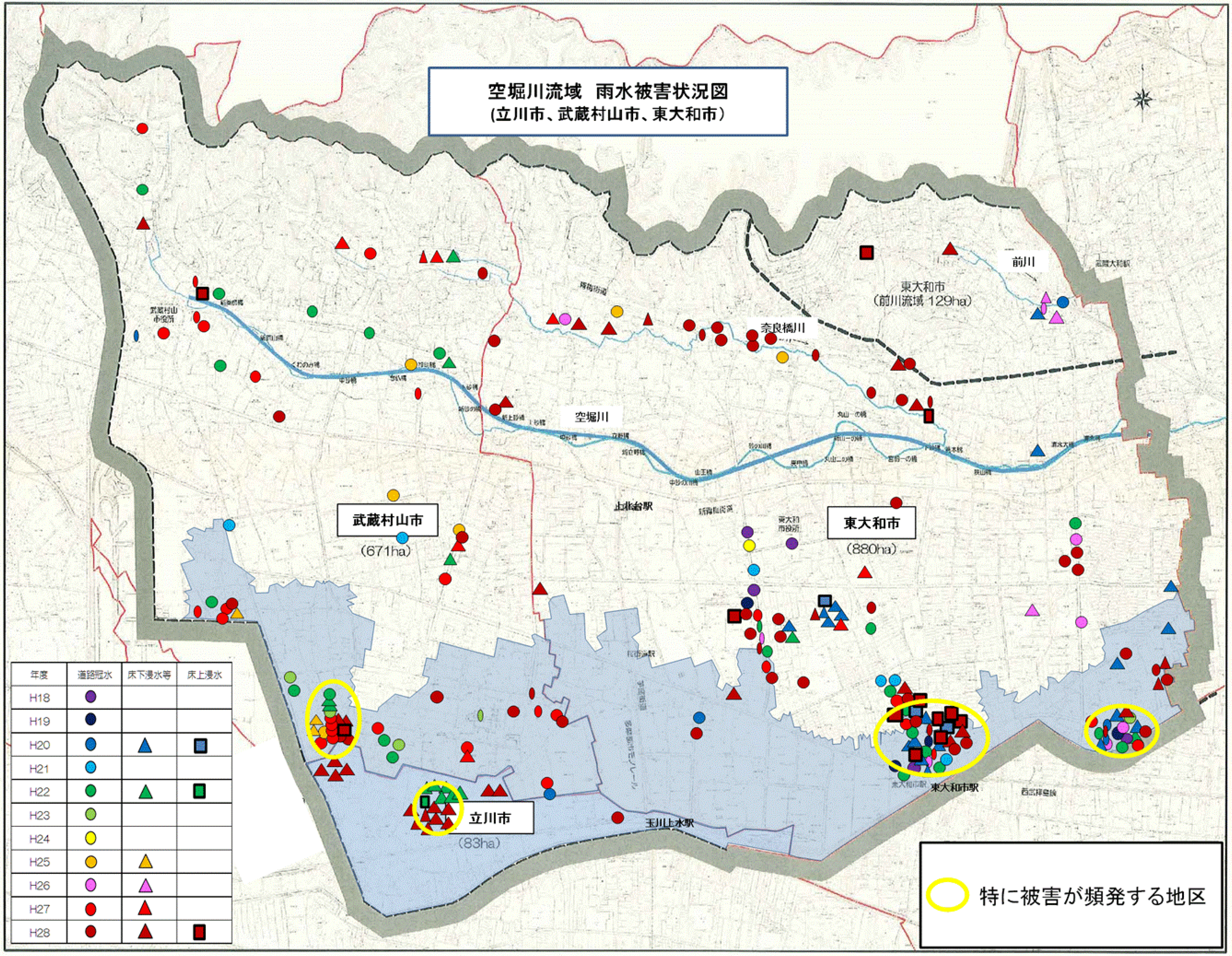
・計画降雨は、時間当たり 50 ミリの中央集中型
・対象流域を主要な既設管などを考慮してモデル化
・浸水被害が発生した降雨によるキャリブレーションを実施しモデルを構築
・現況シミュレーションを実施し対象範囲を特定

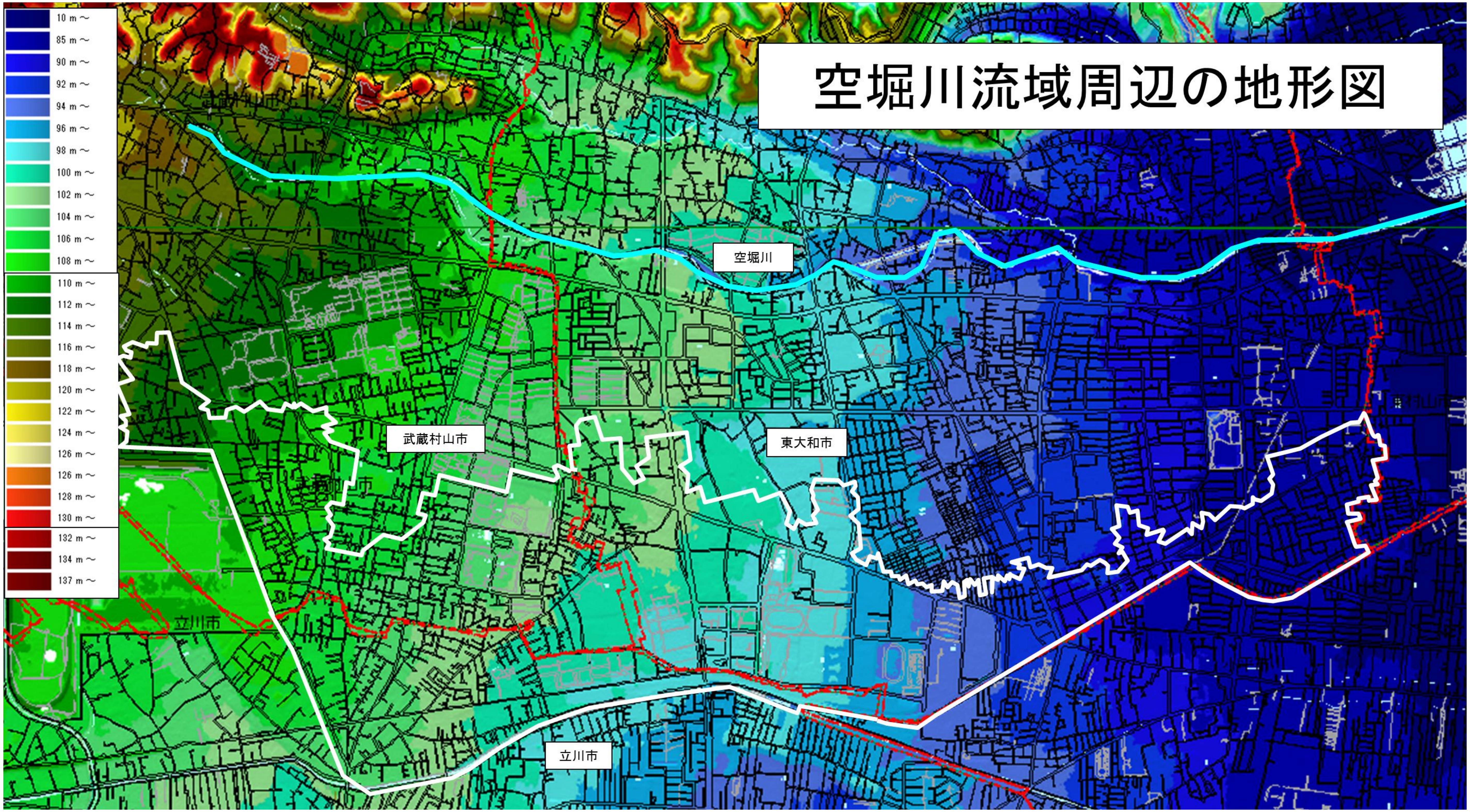
〇整備手法の検討（公共と流域の比較）

・河川の流域と整合を図り、流域全体で必要な雨水整備を検討
・流域雨水幹線整備と各市による単独整備を比較検討し、雨水整備計画を策定

〇段階的雨水整備

・流下、貯留、浸透施設などの組み合わせによる段階的な整備手法を検討
・それぞれの規模を検討し、費用対効果分析を行い、より早期に効果が発現され、効率的・経済的な整備手法を選定
・選定した整備手法の整備工程や財源の内訳などを検討


空堀川流域　雨水被害状況図
(立川市、武蔵村山市、東大和市)
前川
東大和市
(前川流域 129ha)
奈良橋川
空堀川
武蔵村山市
(671ha)
上北台駅
東大和市
(880ha)
立川市
(83ha)
東大和市駅
玉川上水駅
特に被害が頻発する地区
年度
道路冠水
床下浸水等
床上浸水
H18
H19
H20
H21
H22
H23
H24
H25
H26
H27
H28


空堀川流域周辺の地形図
10 m～
85 m～
90 m～
92 m～
94 m～
96 m～
98 m～
100 m～
102 m～
104 m～
106 m～
108 m～
110 m～
112 m～
114 m～
116 m～
118 m～
120 m～
122 m～
124 m～
126 m～
126 m～
128 m～
130 m～
132 m～
134 m～
137 m～
空堀川
武蔵村山市
東大和市
立川市
立川市